

[資料編]

資料一 1 ドミニカ共和国の社会・経済事情
(1/2)

1994.07 1/2

国名	ドミニカ共和国
	DOMINICAN REPUBLIC

一般指標					
政体	共和制	*1	面積	48.0千Km ²	*1
元首	President Joaquin BALAGUER	*1	人口	7,684千人 (1993年)	*1
独立年月日	1844年02月27日	*1	首都	サントドミンゴ	*1
人種(部族)構成	混血73%、白人系16%黒人系11%	*1	主要都市名	サンペドロ、ラウエカ、アマナカ	*1
	%	*1	経済活動可人口	2,300千人 (1986年)	*1
言語・公用語	スペイン語	*1	義務教育年数	4 (1992年)	*2
宗教	ローマカトリック	*1	初等教育就学率	- % (0000年)	*2
国連加盟	1945年10月		識字率	83.0% (1990年)	*1
世銀・IMF加盟	1945年12月	*1	人口密度	152.0人/Km ² (1992年)	*2
		*1	人口増加率	1.86% (1993年)	*2
			平均寿命	平均 67.98 男 65.9 女 70.2	*1
			5歳児未満死亡率	53.6/1000 (1993年)	*1
			カロリー供給量	2,310.0cal/日/人 (1990年)	*2

経済指標					
通貨単位	ペソ	*1	貿易量	(1992年)	*3
為替レート(1US\$)	1US\$= 13.23	*3	輸出	555.0百万ドル	*2
会計年度	1月～12月	*1	輸入	2,443.0百万ドル	*2
国家予算	USドル (1990年)	*2	輸入増加率	2.0% (1992年)	*4
歳入	860.3百万	*2	主要輸出品目	ニッケル、砂糖、金、コーヒー、ココア	*1
歳出	824.6百万	*2	主要輸入品目	食品、石油、綿花、繊維、化学製品、薬	*1
国際収支	37.1百万ドル (1992年)	*2	日本への輸出	18.0百万ドル (1992年)	*5
ODA受取額	62.00百万ドル (1992年)	*2	日本からの輸入	207.0百万ドル (1992年)	*5
国内総生産(GDP)	7,508.00百万ドル (1992年)	*2			
一人当たりGDP	940.0ドル (1991年)	*2	外貨準備総額	475.5百万ドル (1994年)	*1
GDP産業別構成	農業 18.0%	*2	対外債務残高	4,649.0百万ドル (1992年)	*4
	鉱工業 25.0%		対外債務返済率	13.5% (1992年)	*4
	サービス業 57.0%		インフレ率	1.4% (1992年)	*2
産業別雇用	農業 46.0%	*2			
	鉱工業 15.0%				
	サービス業 39.0%		国家開発計画		*5
経済成長率	7.4% (1992年)	*2			

気象(1959年～1984年平均) 場所: CIUDAD TRUJILLO (標高 17 m)													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	29.0	29.0	29.0	29.0	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	30.0	29.0	30.0℃
最低気温	19.0	19.0	19.0	21.0	22.0	22.0	22.0	23.0	22.0	22.0	21.0	19.0	20.9℃
平均気温	24.0	24.0	24.0	25.0	26.0	26.5	26.5	27	26.5	26.5	25.5	24.0	25.4℃
降水量	61.0	36.0	48.0	99.0	473.0	158.0	163.0	160.0	185.0	152.0	122.0	61.0	1718.0 mm
雨期/乾期					雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		

- *1 The World Factbook(C.I.A)
- *2 Human Development Report(UNDP)
- *3 International Financial Statistics(IMF)
- *4 World Debt Tables(WORLD)
- *5 最新世界各国要覧(東京書籍)

資料—1 ドミニカ共和国の社会・経済事情
(2/2)

国名	ドミニカ共和国
	DOMINICAN REPUBLIC

1994.07 2/2

*6

項目	年度	1989	1990	1991	1992
無償資金協力		2,043.46	2,382.47	2,515.30	2,699.97
技術協力		2,146.74	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力		5,161.42	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額		9,351.62	10,048.49	11,930.47	10,746.97

*6

項目	暦年	1989	1990	1991	1992
無償資金協力		4.94	6.46	8.48	8.09
技術協力		3.58	10.94	5.84	8.21
有償資金協力		14.04	2.13	0.14	0.31
総 額		22.56	19.53	14.46	16.61

*7

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資金 及び民間資金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	62.20	44.50	-3.30	103.40	11.70	115.10
1. アメリカ	17.00	17.00	-14.00	20.00	-2.00	18.00
2. 日本	16.30	8.10	0.30	24.70	0.00	24.70
3. ドイツ	13.10	11.80	-0.20	24.70	12.90	37.60
4. スペイン	2.60	0.80	0.00	3.40	0.00	3.40
多国間援助 (主要援助機関)	15.00	9.90	-10.20	14.70	11.50	26.20
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	45.80	18.60	4.10	68.50	13.70	82.20
合 計	123.00	73.00	-9.40	186.60	36.90	223.50

*8

技術	関係各省庁→大統領府技術庁→外務省
無償	関係各省庁→大統領府技術庁→外務省
協力隊	関係各省庁→大統領府技術庁→外務省

- *6 我が国の政府開発援助(外務省)
- *7 海外経済協力便覧(海外経済協力基金)
- *8 国別協力情報(JICA)

(1) 基本設計調査団

向井靖雄	総括／地下水開発計画 国際協力事業団 国際協力専門員
木野本浩之	計画管理 国際協力事業団 無償資金協力調査部
松永伸一	給水計画 国際航業(株)
稲森郁郎	施設設計／機材・維持管理計画 国際航業(株)
高橋直良	水理地質／掘削計画 住鋳コンサルト(株)
増岡奉文	通訳 国際航業(株)

(2) 基本設計調査報告書ドラフト説明調査団

三好治秀	総括 国際協力事業団 調達部契約課
松永伸一	給水計画 国際航業(株)
稲森郁郎	施設設計／機材・維持管理計画 国際航業(株)
増岡奉文	通訳 国際航業(株)

(1) 基本設計調査

月. 日 (曜日)	移動	宿泊地	行動実績
6.14 (火)	ニューヨーク サント・ミンゴ	サント・ミンゴ	コンサルタン団員4名サント・ミンゴ到着 ニューヨーク発 11:30(AA-1145) サント・ミンゴ着 15:06
6.15 (水)	マイアミ サント・ミンゴ	サント・ミンゴ	官団員2名サント・ミンゴ到着 マイアミ発 18:50(AA-423) サント・ミンゴ着 20:54 *コンサルタン団員は上下水道公社訪問 (インベリジョンレポート提出) 現地再委託の為測量業者3社と打ち合わせ (見積依頼)
6.16 (木)		〃	在日本大使館表敬、JICAサント・ミンゴ(事)表敬 及び上下水道公社表敬 インベリジョンレポートの説明 無償資金協力の仕組みについて説明
6.17 (金)	サント・ミンゴ モンテクリスティー	モンテクリスティー	午前:調査対象地域へ移動 午後:貯水池・浄水圧送システム対象村落視察
6.18 (土)		〃	動力ポンプシステム対象村落視察 ハンドポンプシステム対象村落視察 モンテクリスティー浄水場視察
6.19 (日)	モンテクリスティー サント・ミンゴ	サント・ミンゴ	サント・ミンゴへ移動
6.20 (月)		〃	上下水道公社との協議 インベリジョンレポートの説明及び協議 質問表の提出、協議 情報、資料の入手依頼
6.21 (火)		〃	上下水道公社とミニッツ協議 ミニッツ作成、署名
6.22 (水)		〃	日本大使館、JICA事務所報告
6.23 (木)		〃	官団員のみ帰国 サント・ミンゴ発 7:30(AA-422) *コンサルタン団員現場調査準備

月. 日 (曜日)	移動	宿泊地	行動実績
6. 24 (金)	サトトミコ 各サト	各サト	現地調査は広範囲にわたるため3班に分かれ特に開発調査終了後の以下の調査を実施した ・地下水生産計画関連調査 ・表流水開発計画関連調査 ・浄水運搬、給水計画関連調査 ・維持管理計画現状調査
↓			
↓	各サト		
7. 4 (月)	サトトミコ	サトトミコ	現場調査終了(サトトミコへ移動)
7. 5 (火)		"	資料収集及び現地調結果の整理、検討
7. 6 (水)		"	"
7. 7 (木)		"	"
7. 8 (金)		"	"
7. 9 (土)		"	基本設計基本構想の作成
7. 10 (日)		"	" *調査団員1名帰国
7. 11 (月)		"	基本構想の説明・協議
7. 12 (火)		"	"
7. 13 (水)		"	"
7. 14 (木)		"	日本大使館及びJICA事務所へ報告
7. 15 (金)	サトトミコ ニューヨーク	ニューヨーク	移動日
7. 16 (土)	ニューヨーク	機中泊	
7. 17 (日)	成田		帰国

資料-3 現地調査日程表(3/3)

(2) 基本設計調査報告書ドラフト説明

月.日(曜日)	移動	宿泊地	行動実績
9.29 (木)	ニューヨーク サント・ミンゴ	サント・ミンゴ	ニューヨーク発 11:30 (AA1445) サント・ミンゴ着 15:06
9.30 (金)		サント・ミンゴ	JICAトミカ打合せ INAPA協議、長官表敬 在トミカ日本大使館表敬
10.1 (土)		サント・ミンゴ	国内打合せ
10.2 (日)		サント・ミンゴ	国内打合せ
10.3 (月)		サント・ミンゴ	INAPA、報告書説明協議
10.4 (火)		サント・ミンゴ	INAPA、報告書説明協議
10.5 (水)		サント・ミンゴ	ミッツ細部協議 ミッツ署名
10.6 (木)		サント・ミンゴ	大使館報告 JICA事務所報告 INAPA道路改修について協議
10.7 (金)	サント・ミンゴ	ニューヨーク	サント・ミンゴ出発
10.8 (土)	ニューヨーク	機中泊	移動
10.9 (日)	成田		帰国

資料一 4 面談者リスト

(1) 在ドミニカ共和国日本大使館

石垣 泰司	特命全権大使
福田 進	参事官
佐藤 仁彦	一等書記官

(2) 国際協力事業団ドミニカ共和国事務所

中島 伸克	所長
渡辺 武士	次長
三義 望	所員

(3) 相手国政府関係者

1) 基本設計調査

Ing. Manuel de la Cruz Martinez	上下水道庁長官
Ing. Marco Rodriguez	同 主席副長官
Ing. Carlos Leal	同 技術副長官
Ing. Juan Garcia	同 技術部長
Ing. Dario Jimenez	同 水文課長
Ing. Pedro Geraldo Then	同 水処理部技師
Ing. Cristobal Jimenez	同 水処理部技師
Ing. Lucas de Castro	同 水文部技師
Ing. Santiago Munoz	同 土木技師
Lic. Maria Dominquez	同 社会経済
Ing. Abelardo Diaz	同 水文部技師

2)基本設計調査報告書ドラフト説明

Ing. Jhonny Jones	INAPA長官
Ing. Nelson Sanchez	INAPA副長官
Ing. Victor V. Sirva C.	長官顧問
Ing. Juan E. Rodriguez Marmolejos	技術副長官
Ing. Ernesto Mejia	工事担当副長官
Ing. Oscar Espinal	運営副長官
Ing. Dario Jimenez	水文部部長
Lic. Marry Dominguez	国際協力担当部長

資料-5 調査対象村落の現況

(1/4)

手動ポンプシステム(1/2)

村落名	要 請 井戸数	井戸建設に対する現地の状況
Hato Viejo	2	特に要請とは変更無い
Sanita	3	自噴井あり、しかし集落が広域に分布している為井戸数は変わらず
Cayuco	動力	離村者が多く手動ポンプシステムに変更
Las Lajas	4	既存井戸あり(手動ポンプ-2、風車井戸-1)、井戸数再検討を要する
Clavellina	4	集落分布状況より井戸数の再検討を要する
La Gorra	6	INAPAによる水道設備あり、未整備地区を対象に再検討を要する
La Barrera	2	INAPAによる水道設備あり、未整備地区を対象に再検討を要する
El Estrecha	2	集落分散状況(稀薄)より井戸数の再検討を要する
El Llano	3	特に要請とは変更無い
La Penita	4	開発調査試験井あり(INAPAが風車井戸取付)
Pueblo Nuevo	2	特に要請とは変更無い
El Cajuil	4	集落分散状況より井戸数の再検討を要する
El Aguacate	3	FUDECOにより給水施設が整備されている
La Penita	4	開発調査試験井あり(INAPAが風車井戸取付)
La Avansada	2	特に要請とは変更無い
Pinal Claro	4	INAPAによる水道設備(全域)あり、計画対象地区から除外
La Hoya	2	特に要請とは変更無い
Buen Gusto	3	開発調査試験井あり(利用可能)
Aminilla	7	INAPAによる水道設備あり、未整備地区を対象に再検討を要する
Mariano Cestero	6	開発調査試験井あり(INAPAが風車井戸取付)
Valle Nuevo	3	特に要請とは変更無い
Neyta	2	地下水の可能性は殆ど無い、Neyta川左岸側は途中まで水道設備あり
Las Lagunas	5	特に要請とは変更無い

資料一 5 調査対象村落の現況

(2/4)

手動ドックシステム(2/2)

村落名	要 請 井戸数	井戸建設に対する現地の状況
Sabana Campo	2	道路改修、道路新設を要する
Macacia	7	特に要請とは変更無い
Carrera Verde	2	進入道路無し、村落中心部は山腹高地に位置する
Lanadero	2	開発調査試験井あり（利用可能）
El Mamoncito	2	開発調査試験井あり（利用可能）
San Andres	2	進入道路無し、道路新設が必要
Guayabal	6	集落は狭い範囲に密集、要請井戸数の検討を要する
Hato Viejo	3	既存井戸3本あり（使用可）、但し離れ地に15所帯が居住
Pilon	3	集落は比較的丘陵高地に点在、丘陵高地での地下水は期待出来ない
Guaroa	2	特に要請とは変更無い
Los Yareyes	3	特に要請とは変更無い
Juan Cano	2	特に要請とは変更無いが道路改修を要する
Canada del Barrero	2	特に要請とは変更無い
Los Mesas	2	特に要請とは変更無いが道路改修を要する
Los Canos	2	進入道路無し、道路新設が必要
Sabana de la Loma	7	離村者が多く井戸数の再検討を要する、また道路改修が必要
Juan Garcia	2	集落は比較的丘陵高地に点在、丘陵高地での地下水は期待出来ない
Madre Vieja	3	進入道路無し、道路新設が必要

資料一 5 調査対象村落の現況

(3/4)

動力ポンプシステム

村落名	要 請 井戸数	井戸建設に対する現地の状況
La Pinta	1	集落は比較的まとまっており幹線道路沿い約1km範囲に分布 開発調査試験井あり、しかし井戸に鋼材が落下しており使用不能
Batey Iiguero	1	集落は極めて狭い範囲に密集 ヤケテルノリ川左岸近くに位置するため地下水は豊富
Cerro Gordo	1	本地区は幹線道路約8.2km沿いに集落が分布し居住者は2000人以上に及ぶ、一方地下水生産可能量は100l/minである為要請の見直しを要する
Pena Ranchadero	1	開発調査時削井した試験井あるが現在風車を取り付けられている、本計画ではこの風車を撤去し利用する、対象人口は1000名程度と見積もられる為、要請施設の検討を要する
Jobo Corcobado	1	開発調査時削井した試験井あり本計画ではこの試験井を利用する 対象人口の約70%（パナマフアンテーション従業員）は既に各戸給水されている 従って残り30%（約700人）を対象に計画の見直しを行う
Gozuela	1	本地区のSanta Maria地区は既に水道設備が整備されている 従ってGozuera地区住民約800人を対象に計画の見直しを行う
Cayuco	1	本村落はここ3年間に人口が大幅に減少し現在400人となっている、この傾向は今後も続く傾向にある 従って、本地区は自動ポンプシステムを手動ポンプシステムに変更する
La Vija	0	本地区はグハソ浄水場からの水道設備がおよそ10年前に整備されている、しかしながら本村落高台に位置する約100所帯（500名）は水道設備が整備された10年前より給水状況は極めて悪く、グハソ市周辺の人口増加に伴い現在は殆ど用水は供給されていない（週1度夜間に2時間程度） 一方、本地区は開発調査時良質な地下水賦存が確認されておりINAPAと協議し本地区を計画対象地区に含める事とした

資料一 5
(4/4)

調査対象村落の現況

貯水池・給水システム

村落名	貯水池	施設建設に対する現地の状況
Las Aquitas Buen Hombre Las Canas Las Brigidas	} 1ヶ所	<p>本計画は貯水池を水源とし左記4村落に生活用水を供給するもので、貯水池はM-32南東1kmに位置する既存貯水池を改修、利用する計画である。現在の貯水量は余水吐により貯留調整を行っているが、貯水池の貯水能力は本計画に充分対応出来る容量を有する。</p> <p>左記M-30を除く3村落の距離は2~3kmであるが、M-30(Buen Hombre)は大西洋岸に位置し貯水池からの距離も5kmと離れている。</p>
Las Conucos El Cayal Sabana Cruz		} 1ヶ所

用水搬送システム

村落名	計画策定に関する現地の状況
Isabel de Torres Estero Balsa Loma Atravesada El Manantial	<p>当初左記4村落に供給する用水はモンクリスタ浄水場の用水を水源とする計画であったが本浄水場の能力がない為Guayubin浄水場から用水を調達する事とする。Guayubin浄水場から左記4村落までの運搬距離は当初計画より距離は多少長くなる。従って、水源可能量にもよるが上記Type-3貯水池・浄水圧送システムによって生産される浄水利用を検討する。</p>

討議議事録（仮訳）

ドミニカ共和国西部地下水開発計画
基本設計調査

日本政府は、ドミニカ共和国政府からの要請に応え、同国西部地下水開発計画に係る基本設計調査の実施を決定し、国際協力事業団に同調査の実施を委任した。

同国際協力事業団は国際協力専門員向井靖雄氏を団長とする調査団を「ド」国に派遣し、6/14～7/15まで調査を実施する予定である。

調査団はINAPAをはじめとするドミニカ政府関係者と協議を行うと共に、計画対象地区における現地調査を実施した。

この協議、現地調査を通じ両国政府は別紙に添付する各事項について確認した。調査団は本調査において入手した資料を分析し、基本設計調査報告書を作成する。

サントドミンゴ 1994年6月21日

向井靖雄
基本設計調査団団長

MANUEL E. DE LA CRUZ M.
上下水道庁長官

1) 本計画の目的

本調査の目的は、ドミニカ共和国、西部地域の各村落に対する飲料水供給施設の建設である。

2) 計画対象地域

ANEXO I に示す通り、本基本設計調査対象村落は西部3県（モンテクリスター、ガハポン、エリアスピニャ）に位置する59ヶ村である。

しかしながら、対象村落は今後の本調査結果によって決定される。

3) 実施機関

ドミニカ共和国、上下水道庁

4) 要請内容

基本設計調査団との協議を通じて、ドミニカ側は以下に示す内容を要請した。しかしながら、最終内容については、今後の調査結果により決定される。

- a) 手動ポンプ付き深井戸の建設
- b) 動力ポンプ付き深井戸の建設
- c) 貯水池を利用した簡易浄水施設の建設
(含む、ポンプ、浄水施設、高架水槽等)
- d) 用水搬送システムに必要な給水車の供与及び施設建設
- e) 井戸建設資機材の搬入に必要な進入道路の新設及び改修
(含む河川横断施設)
- f) 事務所、クレーン付きトラック等、運営・維持管理に必要な施設の建設及び機材の供与
- g) 地下水モニタリングシステム

5) 日本の無償資金協力の仕組み

- a) 基本設計調査団は日本の無償資金協力の仕組みに関する説明を行い、ドミニカ政府はこれを理解した。
- b) ドミニカ共和国政府は、本計画が日本の無償資金協力案件として承認された場合、この実施に向けて、ANEXO II に定められた処置を行うものとする。

6) 調査日程

- a) 調査団（コンサルタント）は本年7月15日までドミニカ共和国において調査を行う。
- b) JICAは1994年9月中旬を目処にドラフト・ファイナルレポートを西文で作成し、調査団をドミニカ共和国に派遣する。作成されたドラフト・ファイナルレポートは調査団によってINAPA関係者にその内容を説明する。
- c) ドラフト・ファイナルレポートの内容が承認された後、JICAはファイナルレポートを作成する。ファイナルレポートは1994年11月下旬までに在日本大使館を通しINAPAに送付する。

ANEXO I

調査対象地域

ハント・ホ・ソフ・システム

MONNTECRISTI	DAJABON	ELIAS PINA
M- 3 Hato Viejo	D- 2 Cayuco	E- 6 Sabana Campo
M-27 Sanita	D- 3 Las Lajas	E- 8 Macacia
	D- 5 Clavellina	E- 9 Carrera Verde
	D- 8 La Gorra	E-10 Lamedero
	D- 9 La Barrera	E-19 El Mamoncito
	D-10 El Estrecha	E-21 San Andres
	D-11 El Llano	E-22 Guayabal
	D-13 La Penita	E-23 Hato Viejo
	D-14 Pueblo Nuevo	E-24 Pilon
	D-18 El Cajuil	E-25 Guaroa
	D-20 El Aguacate	E-26 Los Yareyes
	D-21 La Penita	E-32 Juan Cano
	D-23 La Avansada	E-36 Canada del Barrero
	D-31 Pinal Claro	E-40 Los Mesas
	D-34 La Hoya	E-41 Los Canos
	D-39 Buen Gusto	E-46 Sabana de la Loma
	D-43 Aminilla	E-47 Juan Garcia
	D-45 Mariano Cestero	E-48 Madre Vieja
	D-49 Valle Nuevo	
	D-50 Neyta	
	D-55 Las Lagunas	

動力ホツツシステム

MONNTECRISTI

DAJABON

M- 7 La Pinta

D- 2 Cayuco

M- 8 Batey Higuero

D-56 La Vija

M-13 Cerro Gordo

M-14 Pena Ranchadero

M-24 Jobo Corcobado

M-25 Gozuela

貯水池・浄水圧送システム

用水搬送システム

MONNTECRISTI

MONNTECRISTI

M- 4 Las Aquitas

M- 2 Isabel de Torres

M-11 Las Conucos

M-17 Estero Balsa

M-21 El Cayal

M-33 Loma Atravesada

M-30 Buen Hombre

M-37 El Manantial

M-31 Las Canas

M-32 Las Brigidas

M-34 Sabana Cruz

ANEXO II

先方政府負担事項（無償が実施された場合）

- 1) プロジェクトに必要な資料、情報の提供
- 2) プロジェクト実施に必要な用地の確保
- 3) プロジェクトサイトの整備、清掃（1994年12月末まで）
- 4) 建設対象村落への進入道路の建設（1994年12月まで）
- 5) 銀行間協定に基づいて行われる業務に関連して、外貨両替を行う日本の銀行に対し手数料を支払う事。
- 6) ドミニカ共和国の税関において、本計画の実施に関連して輸入される資機材の迅速なる引き渡し処置。また、税関で必要となる費用の負担。
- 7) 本計画の実施に関連して、輸入される資機材に対し課せられる関税、輸入税、印紙等の費用を免税する。
- 8) 資材供給並びに契約に定める業務を行う日本人に対し、ドミニカ共和国への出入国の並びに任務の遂行上必要となる期間の滞在許可。
- 9) 無償資金協力により整備される施設並びに供与機材の有効利用、及び適正なる運営・維持管理。
- 10) プロジェクトの実施に必要なかつ無償資金協力によりカバーされない費用の負担。

協議議事録

MINUTA DE DISCUSION
SOBRE EL
ESTUDIO DEL DISEÑO BASICO PARA EL PROYECTO DE
DESARROLLO DE AGUAS SUBTERRANEAS EN LA REGION
OCCIDENTAL DE LA REPUBLICA DOMINICANA

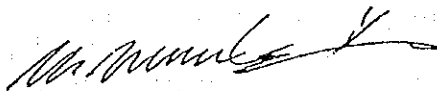
El Gobierno de la República Dominicana, a través del Instituto Nacional de Aguas Potables y Alcantarillados (en lo adelante se denominará INAPA), efectuó una Solicitud de Cooperación para el Proyecto de Desarrollo de Aguas Subterráneas en la Región Occidental (en lo adelante se denominará el Proyecto). En respuesta a esta solicitud el Gobierno del Japón considerando como base el resultado del Estudio de factibilidad, decidió asignar el Estudio del Diseño Básico a la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en lo adelante se denominará JICA).


JICA envió un equipo de estudio a la República Dominicana, encabezado por el Ing. Yasuo Mukai especialista en desarrollo de aguas subterráneas de JICA. Esta Misión esta programada permanecer en el país del 14 de junio al 15 de julio del corriente año.

El equipo sostuvo una serie de reuniones con los funcionarios de INAPA y Autoridades relacionadas del Gobierno de la República Dominicana, y así mismo realizó las investigaciones en el área de estudio.

En el curso de las discusiones y del estudio de campo, ambos Gobiernos confirmaron los principales items mencionados en las hojas adjuntas. El equipo analizará los datos obtenidos y preparará el Informe sobre el Estudio del Diseño Básico.

Santo Domingo, 21 de junio de 1994


Ing. Yasuo Mukai
Jefe
Equipo del Estudio del
Diseño Básico


Ing. Manuel E. de la Cruz M.
Director Ejecutivo
Instituto Nacional
de Aguas Potables
y Alcantarillados

1) Objetivos del Proyecto

El objetivo del Proyecto es construir facilidades de suministro de agua con la finalidad de abastecer agua potable en las comunidades de la región occidental de la República Dominicana.

2) Lugares del Proyecto

Los lugares en donde se llevará a cabo el Estudio de Diseño Básico, serán en las 59 localidades comprendidas en las tres Provincias (Monte Cristi, Dajabón, y Elías Piñas) como se muestra en la lista del Anexo I.

Sin embargo los lugares que cubrirá el Proyecto será decidido una vez concluido el estudio.

3) Institución ejecutora del Proyecto

El Instituto Nacional de Aguas Potables y Alcantarillados es responsable de la gestión y ejecución del Proyecto.

4) Puntos solicitados por el Gobierno de la República Dominicana

A través de las discusiones con la Misión de Estudio de Diseño Básico, la parte Dominicana ha solicitado finalmente los equipos que figuran a continuación, y sin embargo, en cuanto al contenido definitivo del Proyecto, se decidirá una vez concluido el Estudio.

- a) Construcción de pozos profundos con Sistema de Bombas manuales.
- b) Construcción de pozos profundos con sistema de bombas motorizadas.
- c) Construcción de sistema de tratamiento de agua para los Reservorios superficiales, incluyendo bombas, plantas de tratamiento, tanque elevadizo etc.
- d) Suministro de camiones cisternas y equipos para el sistema de distribución de agua potable.
- e) Construcción y mejoramiento de los caminos de acceso para la penetración del equipo de perforación, incluyendo la construcción de vadenes.
- f) Construcción de instalaciones para las actividades de operación y mantenimiento, tales como oficina, camiones grúa etc.
- g) Sistema de monitoreo de agua subterránea.

h) Servicios de consultoría para el diseño detallado y supervisión de las construcciones.

5) Sistema de la Cooperación Financiera No-Reembolsable del Gobierno del Japón

(a) El Gobierno de la República Dominicana ha entendido el sistema de la Cooperación Financiera No-Reembolsable del Japón explicado por el equipo del Estudio del Diseño Básico.

(b) El Gobierno de la República Dominicana tomara las medidas necesarias descritas en el ANEXO II para la rápida implementación del Proyecto, a condición de que la Cooperación Financiera No-Reembolsable del Gobierno del Japón sea aplicada al Proyecto

6) Programa del Estudio

(a) Los Consultores realizarán su estudio en la República Dominicana hasta el 15 de julio del presente año.

(b) JICA preparará el borrador del Informe Final en Español y enviará una Misión a la República Dominicana a mediados de septiembre de 1994 con la finalidad de explicar el contenido del Informe a las Autoridades de INAPA.

(c) Basado en la aceptación del contenido del borrador del Informe Final, JICA elaborará el Informe Final y lo enviará al Gobierno de la República Dominicana, a finales de noviembre de 1994, a través de la Embajada de Japón.

Carre

ANEXO I

LOS LUGARES DEL PROYECTO

-SISTEMA DE BOMBAS MANUALES.

MONTECRISTI

M-3 Hato Viejo
M-27 Sanito

DAJABON

D-3 Laja
D-5 Clavellina
D-8 La Gorra
D-9 La Barrera
D-10 El Estrecho
D-11 El Llano
D-13 La Peñita Arriba
D-14 Pueblo Nuevo
D-16 El Cajuil
D-20 El Aguacate
D-21 La Peñita Abajo
D-23 La Avanzada
D-31 Pinar Claro
D-34 La Hoya
D-39 Buen Gusto
D-43 Amiaila
D-45 Mariano Cestero
D-49 Valle Nuevo
D-50 Neyta
D-55 Las Lagunas

ELIAS PINA

E-6 Sabana Campo
E-8 Mecasia
E-9 Carrera Verde
E-10 Lanadero
E-19 El Mamoncito
E-21 San Andrés
E-22 Guayabal
E-23 Hato Viejo
E-24 Pilon
E-25 Guaroa
E-26 Los Yareyes
E-32 Juan Cano
E-33 Cañada del Barrero
E-40 Los Meas
E-41 Los Caños
E-46 Sabana de la Loma
E-47 Juan Garcia
E-48 Madre Vieja

-SISTEMA DE BOMBAS MECANIZADAS

MONTECRISTI

M-7 La Pinta
M-8 Eatey Higuero
M-13 Cerro Gordo Arriba
M-14 Peña Ranchadero
M-24 Jobo Corcovado
M-25 Gozuela

DAJABON

D-2 Cayuco
D-4 La Vijia

-SISTEMA DE TRATAMIENTO DE AGUA POTABLE PARA LOS RESERVORTOS SUPERFICIALES

MONTECRISTI

M-4 La Aguitas
M-30 Buen Hombre
M-31 Las Canas

M-32 Las Brigidas
M-11 Los Conucos
M-21 El Cayal

M-34 Sabana Cruz

SUMINISTRO DE AGUA POTABLE A TRAVES DE CAMIONES CISTERNA

MONTECRISTI

M-2 Isabel de Torres
M-37 El Manantial

M-17 Estero Salso

M-33 Loma Atravesada

ANEXO II

Medidas a ser tomadas por el Gobierno de la República Dominicana en caso de que la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón sea aplicada al Proyecto.

- 1) Facilitar datos e informaciones necesarias para el proyecto.
- 2) Asegurar los terrenos del Proyecto
- 3) Preparar los sitios donde se llevaran a cabo las construcciones, a más tardar hasta el final del año en curso.
- 4) Construir los caminos de acceso de los Sitios antes de la construcción, a más tardar hasta el final del año en curso.
- 5) Realizar el pago de Comisiones a un banco Japonés de cambio de moneda extranjera por concepto de servicios bancarios, basados en el arreglo bancario a firmarse.
- 6) Asegurar el pronto desembarque y despacho aduanero, en los puertos de desembarque en la República Dominicana y sufragar las comisiones necesarias a las agencias aduaneras.
- 7) Eximir del pago de derechos aduaneros, impuestos internos, impuestos de transferencia de Bienes industrializados (ITBI) y otras cargas fiscales que se impongan a los nacionales japoneses en la República Dominicana con respecto al suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos Verificados.
- 8) Conceder a los nacionales japoneses, cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos verificados, tantas facilidades como sean necesarias para su ingreso y estadía en la República Dominicana para el desempeño de sus funciones.
- 9) Asegurar que las facilidades construidas y rehabilitadas por la donación sean debida y efectivamente mantenidos y utilizados para la ejecución del Proyecto.
- 10) Sufragar todos los gastos necesarios, excepto aquellos gastos a ser cubiertos por la Donación, para la ejecución del Proyecto.

Ullrich



議事録（仮 訳）

ドミニカ共和国西部3県給水計画基本設計調査
（ドラフト・レポート説明・協議）

国際協力事業団（JICA）は、1994年6月、西部3県給水計画（以下、「本計画」という）に係る基本設計調査団をドミニカ共和国へ派遣した。この調査団は「ド」国における協議と現地踏査及び日本国内での技術的検討の結果、基本設計調査報告書のドラフトを作成した。

このドラフト報告書の内容を「ド」国政府関係者へ説明し、協議を行うため、JICAは同事業団調達部契約課三好治秀氏を団長とする調査団を、1994年9月29日から10月7日まで「ド」国へ派遣した。

本議事録は、調査団滞在中の報告書説明および協議の主要な結果を別紙に取りまとめ、双方が確認するものである。

1994年10月4日

於 サントドミンゴ市

三好治秀氏

国際協力事業団

ドラフト報告書説明調査団長

ING. JHONNEY A. JONES

上下水道庁長官

別紙

1. ドラフト・レポートの内容

ドミニカ共和国政府は、日本側調査団が提出し説明を行ったドラフト・レポートの内容に基本的に同意し、これを受け入れた。

2. ドミニカ国の負担事項について

- (1) ド国政府は、調査団が説明した日本政府の無償資金協力の仕組みについて理解した。
- (2) 本計画に対して日本政府の無償資金が供与される場合には、ド国政府は ANNEX 1 に示す必要な措置をとるものとする。
- (3) ANNEX 2 に記載した5村落は、ド国政府がアクセス道路の建設を実施する事を前提として、以下の条件付きで給水施設建設の計画対象とする。
 - 1) アクセス道路の新設工事（用地権を含む）に関して、上下水道庁は、
 - ① 工事主体
 - ② 確定した予算額
 - ③ 予算が執行可能となる時期
 - ④ 着工時期（1995年1月末までに開始）
 - ⑤ 完工時期（1995年4月末までに完了）を正式書簡により、11月4日までに、JICAドミニカ事務所長に提出する事。
 - 2) 上記の報告が期限までになされない場合、もしくは予算措置・工事計画の内容が不相当であると日本側が判断する場合には、5村落を計画対象外とする。
- (4) 上下水道庁は、浄水プラント予定地の所有者から、プロジェクトが実施される場合に売却に応ずる旨の同意書を取り付け、正式書簡により11月4日までに、JICAドミニカ事務所長へ提出する。

3. 今後の予定

調査団は、今回の協議の合意事項を踏まえて最終報告書を作成し、ドミニカ政府宛に、1995年1月頃送付する。

ANNEX 1 本計画に対して日本の無償資金が供与された場合のドミニカ共和国政府負担事項

1. 本計画の実施に必要な情報・データを提供する事。
2. 本計画の実施に必要な用地の取得・整地を、工事開始までに実施すること。
3. 本計画に必要なアクセス道路の新設・改修を、工事開始までに実施する事。
4. ドミニカ共和国政府と日本の外国為替取り扱い銀行との間で締結される銀行取り極めに従った、銀行口座開設に伴う手数料の負担及び支払許可証の発行を遅滞なく履行する事。
5. 本計画のためにドミニカ国外から輸入される資機材の通関を迅速に行う事。
また、本計画のために調達される資機材に対する関税・内国税・課徴金を免除すること。
6. プロジェクトに従事する日本国民に対し、契約に基づく物資・サービスの調達に関連する「ド」国内の関税・内国税・その他の課徴金を免除すること。
7. プロジェクトに従事する日本国民に対して、「ド」国への出入国及び同国滞在に必要な便宜を与えること。
8. 日本の無償資金協力によって建設された施設および調達された機材を、基本設計調査報告書に述べられたO & M計画に従って、適切かつ効果的に運営・維持管理すること。
9. 基本設計調査報告書に述べられている、実施体制、施工計画に係わる義務事項および本計画に必要であり、かつ日本の無償資金で負担しえないその他経費の負担を遅滞なく履行すること。

ANNEX 2 条件付きで計画対象とする村落名

1. SABANA CAMPO
2. CARRERA VERDE
3. SAN ANDRES
4. LOS CANOS
5. MADRE VIEJA

MINUTA DE DISCUSIONES

SOBRE EL

ESTUDIO DEL DISEÑO BASICO PARA EL PROYECTO DE SUMINISTRO DE AGUAS EN LAS TRES PROVINCIAS DE LA REGION OCCIDENTAL DE LA REPUBLICA DOMINICANA

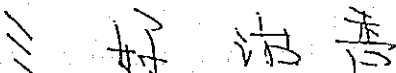
(CONSULTAS SOBRE EL BORRADOR DEL INFORME FINAL)

En junio de 1994, la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en lo adelante se denominará "JICA") envió a la República Dominicana un equipo, para el Estudio de Diseño Básico para el Proyecto de Suministro de Aguas en las tres Provincias de la región Occidental en la República Dominicana (en lo adelante se denominará "El Proyecto"). Este equipo, mediante discusiones, estudios de campo, y exámen técnico de los resultados de estudio en Japón ha preparado el borrador del informe final.

Con el fin de explicar y de realizar las consultas con la parte Dominicana sobre los componentes del borrador del informe final, JICA ha enviado a la República Dominicana un equipo de estudio, encabezado por el Señor Haruhide Miyoshi de la División de Contratación de Consultores, del Departamento de Procuraduría de JICA, el cual está programado a permanecer en el país desde el 29 de Septiembre al 07 de Octubre de 1994.

Como resultado de las discusiones realizadas, ambas partes confirmaron los principales puntos descritos en las hojas adjuntas.

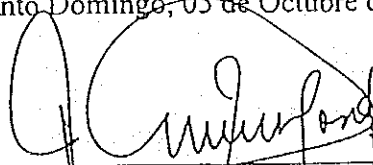
Santo Domingo, 05 de Octubre de 1994.



SR. HARUHIDE MIYOSHI

Jefe

Equipo de Explicación del
Borrador del Informe Final



ING. JHONNY A. JONES

Director Ejecutivo

Instituto Nacional de Aguas
Potables y Alcantarillados

DOCUMENTO ADJUNTO

1.- Contenidos del Borrador del Informe Final:

El Gobierno de la República Dominicana está de acuerdo y ha aceptado en principio los contenidos del borrador del informe final presentado por el Equipo.

2.- Compromisos a ser tomados por el Gobierno de la República Dominicana.

2.1.- El Gobierno de la República Dominicana ha entendido el sistema de Cooperación Financiera No Reembolsable explicado por el Equipo.

2.2.- El Gobierno de la República Dominicana tomará las medidas necesarias descritas en el Anexo I, en caso de que la Cooperación Financiera No Reembolsable sea extendida al Proyecto.

2.3.- El Gobierno del Japón incluiría en El Proyecto las cinco (5) comunidades mencionadas en el Anexo II, a condición de que INAPA construya los caminos de acceso.

A) INAPA someterá una Carta Oficial dirigida al Director de la Oficina de JICA en la República Dominicana declarando los puntos mencionados más adelante en relación a los trabajos de Construcción de Caminos de Acceso (incluyendo derecho de los terrenos) a más tardar el 04 de Noviembre de 1994.

a.1) Institución quien la ejecutaría.

a.2) Monto del Presupuesto fijado.

a.3) Tiempo para disponer el presupuesto disponible (hasta finales de enero, 1995).

a.4) Tiempo en que se comenzarían los trabajos.

a.5) Tiempo en que se llevaría en terminarlos (hasta finales de Abril, 1995).

B) El Gobierno del Japón daría de baja a las comunidades del expuesto proyecto si la Carta Oficial no es sometida antes del plazo ya mencionado ó si la parte Japonesa decide que son inapropiados sus contenidos.

JL (J.F.L.)

2.4.- INAPA debe de obtener una carta de consentimiento de ventas de los terrenos de parte de los propietarios, de los sitios para las Plantas de Tratamiento de agua y someter la misma a través de una Carta Oficial al Director de la Oficina de JICA, en la República Dominicana a más tardar el 04 de Noviembre de 1994.

3.- PROGRAMA FUTURO

El Equipo elaborará el informe final de acuerdo a los puntos confirmados y lo enviará al Gobierno de la República Dominicana alrededor de Enero del 1995.

SAJL

ANEXO I

MEDIDAS NECESARIAS A SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DOMINICANA EN CASO DE QUE SEA EXTENDIDA LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON

- 1.- Proporcionar datos e información necesarias para El Proyecto.
- 2.- Asegurar, limpiar y nivelar los sitios para El Proyecto, antes del comienzo del trabajo que será cubierta por la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón.
- 3.- Construir y mejorar los caminos de acceso antes del comienzo del trabajo que será cubierta por la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón.
- 4.- Asumir el pago de comisiones a un banco japonés de cambio de moneda extranjera, por concepto de servicios Bancarios, basados en el arreglo bancario, y emitir sin retraso la Autorización de Pago.
- 5.- Eximir de impuestos y tomar las medidas necesarias para el pronto desembarque y despacho aduanero de los materiales y equipos adquiridos bajo el proyecto, y eximir del pago de derechos aduaneros, Impuestos Internos, Impuestos a la Transferencia de Bienes Industrializados y Servicios (ITBIS).
- 6.- Eximir a los nacionales japoneses de impuestos aduaneros, impuestos internos y otras cargas fiscales los cuales puedan ser impuestos en la República Dominicana con respecto al abastecimiento de productos y servicios bajo el contrato verificado.
- 7.- Ofrecer a los nacionales japoneses cuyos servicios sean requeridos en relación al proyecto, tantas facilidades como sean necesarias para su ingreso y permanencia en la República Dominicana por el período requerido para el desempeño de sus funciones.
- 8.- Operar, mantener y dar uso apropiados a los equipos y a las facilidades a construir en El Proyecto, de acuerdo al plan de operación y mantenimiento especificado en el Informe del Diseño Básico.
- 9.- Asumir los compromisos del Sistema de Organización y Plan del Proyecto como lo especifica el informe de Diseño Básico y asumir todos los gastos que no esten cubiertos por la Cooperación Financiera No Reembolsable, que sean necesarias para el Proyecto, para su rápida agilización.

ANEXO II

COMUNIDADES CUBIERTAS CONDICIONALMENTE POR EL PROYECTO

1. Sabana Campo
2. Carrera Verde
3. San Andres
4. Los Caños
5. Madre Vieja

84

7/10

JICA

